



評定書（工法等）

申込者 国土交通省大臣官房官庁営繕部 官庁営繕部長 下野 浩史 様
東京都千代田区霞が関2-1-2

件名 「耐力壁と屋根版の一部に CLT を用いた工法」等を用いる A 庁舎

令和3年12月10日付けで評定の申し込みのあった本件については、下記のとおり評定申込事項に係る技術的基準に適合しているものと評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より令和9年1月20日までとします。

令和4年1月21日



記

1. 評定申込事項

本件は、鉄筋コンクリート造（耐力壁及び屋根版の一部に直交集成板を使用）の5階建て庁舎の1プラン（軒の高さ19.55m、建築物の高さ20.25m、延べ面積3,431.10m²）の構造安全性に関する評定である。なお、基礎に関しては評定対象外として、別途適切に構造耐力上安全であることを確認している。

2. 区分

新規

3. 評定をした工法等の内容

別紙1のとおり

4. 評定の内容

（1）方法

本評定は、特別工法評定委員会において、申込者から提出された資料に基づき審査を行ったものである。

（2）内容

提出された構造検討等の結果により、本構造方法の部分について妥当であることを確認した。

5. 備考

本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われていることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。

1. 工法概要

1. 1 建築物概要

本件は、鉄筋コンクリート造（耐力壁及び屋根版の一部に直交集成板を使用）の5階建て庁舎の1プラン（軒の高さ19.55m、建築物の高さ20.25m、延べ面積3431.10m²）の構造安全性に関する評定である。なお、基礎に関しては評定対象外として、別途適切に構造耐力上安全であることを確認することとしている。

1. 2 建築物仕様

建築物仕様を表1に示す。

表1 建築物仕様

構造方法等の名称		「耐力壁と屋根版の一部に CLT を用いた工法」等を用いる A 庁舎		
構造種別		鉄筋コンクリート造+CLT の耐力壁と屋根版（一部）		
用途		事務所		
建設地条件	地震地域係数 (Z)	1.0		
	振動特性係数 (Rt)	1.0		
	基準風速 (地表面粗度区分)	Vo=34m/s (Ⅲ)		
	垂直積雪量 (積雪の単位荷重)	d=30cm (20N/cm ²)		
構造計算ルート		保有水平耐力計算 (ルート 3)		
標準せん断力係数 (C0)		(一次設計) 0.20 (二次設計) 1.00		
建築物の規模等	階数	地上5階建て 地下無し 塔屋無し		
	面積及び高さ	延べ床面積	3,431.10m ²	
		各階床面積	5階	126.46m ²
			4階	826.16m ²
			3階	826.16m ²
			2階	826.16m ²
			1階	826.16m ²
		軒の高さ	19.55m	
	建築物の高さ	20.25m		
	各階の高さ	5階	3.65m	
		1~4階	3.90m	
架構を構成する柱の相互の間隔の最大値	8.0m			
塔状比	X 方向 : 20.25m / 32.0m = 0.632 Y 方向 : 20.25m / 24.0m = 0.843			
その他の適用条件		主体構造は RC 造ラーメン		